

市民公開シンポジウム

日本の医療技術の世界と比較する - 日本の手術は世界一か？

2010年1月10日（日） 14:00～16:00

於：東商ホール

外科系学会社会保険委員会連合（がいほれん外保連）



鳥越 俊太郎

キャスター

略歴

1940年3月 福岡県生まれ

1958年3月 久留米大附設高校卒

1965年3月 京都大学文学部（国史学専攻）卒

1965年4月 毎日新聞社入社

新潟支局、大阪社会部、東京社会部、サンデー毎日編集部

1982年～1983年 アメリカ・ペンシルバニア州クエーカータウンフリープレス紙に職場留学

帰国後、外信部（テヘラン特派員）を経て

1988年4月 サンデー毎日編集長

1989年8月 毎日新聞社退社

1989年10月～ テレビ朝日系列「ザ・スクープ」キャスター

1995年10月～2001年3月 「サンデージャングル」

2002年10月～ テレビ朝日系列「ザ・スクープスペシャル」キャスター

2002年10月～ 「スーパーモーニング」（テレビ朝朝日系）月～木曜日コメンテーター

2002年10月～2005年3月 TBSラジオ「CUBE」

2003年4月～2005年3月 関西大学社会学部教授（マスコミ専攻）

2004年4月～2005年3月 「僕らの音楽」（フジテレビ系列）

2005年4月～2007年3月 関西大学客員教授

2005年4月～ TBSラジオ 「大沢悠里のゆうゆうワイド」（月曜日スーパートーク）

2009年5月 NPO法人「がん患者団体支援機構」理事長

2009年7月 「岩谷時子音楽文化振興財団」評議委員

【賞罰】

2001年4月 「日本記者クラブ賞」（桶川女子大生ストーカー殺人事件報道に対して）

2004年5月 ギャラクシー賞報道活動部門大賞

（ザ・スクープスペシャル『警察の裏金追及第一弾、第二弾』に対して）

著書

『あめりか記者修業』（中公文庫）

『異見一鳥越 俊太郎のジャーナリズム日誌』（現代人文社）

『うちのお父さんは優しい 検証・金属バット殺人事件』（共著明窓出版）

『あのくさ、こればい』（プラネット出版）

『桶川女子大生ストーカー殺人事件』（メディアファクトリー）

『そのニュース ちょっと待った!』（PHP 研究所）

『ニュースの職人「真実」をどう伝えるか』（PHP 研究所）

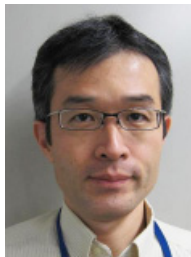
『報道は欠陥商品と疑え』（ウエイツ）

『歳には勝てる』（マガジンハウス）

『人間力の磨き方』（講談社新書）

『本当は知らなかった日本のこと』（ミシマ社）

『～現代ニュース用語から読み解く～2時間でわかる 問題なニッポン』（主婦と生活社）



山口 博弥

読売新聞東京本社編集局医療情報部

【略歴】

1962年鹿児島県生まれ
1987年 早稲田大学法学部卒業
1987年 読売新聞社入社
1997年 岐阜支局、社会部、富山支局などを経て医療情報部へ
2004年 医療情報部主任。現在に至る。

【主な著書】

『こどもの医療が危ない』(共著) 中公新書ラクレ, 2002年5月

シンポジウム演者



大腸がん

前田 耕太郎

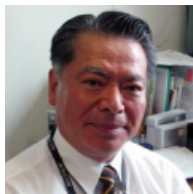
藤田保健衛生大学外科

【略歴】

1979年 慶応義塾大学医学部卒業、同外科学教室入局
1987年 Lund University Malmö General Hospital 外科留学
1989年 Birmingham University 外科留学
1990年 社会保険埼玉中央病院外科医長
1995年 藤田保健衛生大学医学部消化器外科 助教授
2004年 藤田保健衛生大学医学部外科主任教授
2006年 Honorary member of Czech Surgical society
2007年 Visiting Professor National Chen Gung University

【主な著書】

『排泄リハビリテーション』中山書店, 2009年3月
『消化器癌の外科治療』中外医学社, 2008年10月
『排便ケアQ&A』総合医学社, 2006年12月



肺がん

呉屋 朝幸

杏林大学外科

【略歴】

1974年3月 鹿児島大学医学部卒業
1974年4月 東京大学医科学研究所付属病院外科入局
1976年9月 三井記念病院外科
1986年1月 国立がんセンター病院
1993年4月 杏林大学医学部第2外科学教室主任教授
2004年4月 杏林大学医学部外科学(呼吸器外科) 教室教授
2006年4月 杏林大学医学部付属病院副院長
2006年4月 杏林大学医学部付属看護専門学校校長
2006年4月 埼玉医科大学医学部呼吸器外科客員教授
2009年4月 東京薬科大学薬学部客員教授

【主な著書】

『がん患者のクリティカルケア』中外医学社, 1991年
『図説臨床癌シリーズ No.6 肺癌』メジカルビュー社, 1992年
『21世紀へのがん戦略』東京顕微鏡院, 1993年
『手術手技シリーズ 10:肺癌』メジカルビュー社, 1994年
『臨床呼吸器外科第2版』医学書院, 2003年



子宮頸がん

櫻木 範明

北海道大学生殖内分泌・腫瘍学分野

【略歴】

1951年生まれ
1976年3月 北海道大学医学部医学科卒業
1982年3月 同大学院医学研究科修士
医学博士学位取得
1982年4月 北海道大学医学部附属病院産婦人科助手
1989年4月 北海道大学医学部附属病院産婦人科講師
1991年4月～1993年3月
米国ペンシルバニア大学産婦人科学教室
1999年2月 北海道大学医学部産婦人科学講座講師
1999年5月 同助教授
2000年4月 北海道大学大学院医学研究科婦人科学分野助教授
2002年8月 同(現生殖内分泌・腫瘍学) 分野教授
北海道大学病院婦人科 科長、現在に至る

【主な著書】

『機能温存手術』『産婦人科手術の基礎、新女性医学大系6』
中山書店, 2000, 櫻木範明、藤本征一郎
『広汎性子宮全摘術における自律神経温存手技、産婦人科手術の
コツ - その創意と工夫を伝承する』
メジカルビュー社, 2001, 櫻木範明、藤本征一郎
『子宮がん、新臨床腫瘍学 - がん薬物療法専門医のために』
南江堂, 2006
『Lymph node metastasis in gynecologic malignancies -reappraisal-』
Fuyo Co.Ltd., 1998
『Functional and anatomical consideration of systematic nerve-sparing
radical hysterectomy in invasive cervical cancer. ICancer Research at the
Leading Edge.』Nova Science Publishers, Inc., 2008
Sakuragi N, Todo Y, Murakami G, Sato T



骨肉腫

岩本 幸英

九州大学整形外科

【略歴】

1950年福岡県生まれ
1978年 久留米大学医学部卒業
九州大学整形外科入局
1985年 九州大学大学院医学研究科卒業 医学博士
1985-1987年 米国 NIH (国立衛生研究所) 留学
1989年 九州大学整形外科助手
1996年 同講師、助教授を経て九州大学整形外科教授(現職)

【主な著書】

『整形外科 Knack&Pitfalls:骨軟部腫瘍外科の要点と盲点』
文光堂, 2005年, 岩本幸英(編)
『整形外科医のための外来で見逃さない骨・軟部腫瘍 ABC』
メジカルビュー社, 2005年
『神中整形外科科学』(改訂 22版, 上下巻)
南山堂, 2004年, 岩本幸英(編集)
『骨の悪性腫瘍・軟部肉腫』別冊 NHKきょうの健康
これだけは知っておきたいがんの情報がんの治療』
岩本幸英(分担執筆)垣添忠生(総監修)村上彰二(編)
日本放送出版協会, 2002年

外保連関係者



特別発言

出月 康夫
外保連名誉会長
東京大学名誉教授

【略歴】

1934年 生まれ
1960年 東京大学医学部卒
1961年 東京大学第二外科

1966年 米国ミネソタ大学外科
1969年 東京女子医科大学第一外科
1974年 聖マリアンナ医科大学第一外科
1984年 東京大学第二外科教授
1994年 東京大学名誉教授
2001年 愛和会南千住病院名誉院長
日本外科学会名誉会長、米国外科学会名誉会員

【主な著書】

『New 外科学』 南江堂, 1997年
『日本の医療を崩壊させないために』 インターメディカ, 2005年
『写真で学ぶ日本の癌手術 Volume1,2』 インターメディカ, 2009年



主催者挨拶

山口 俊晴
外保連会長
癌研究会有明病院消化器外科

【略歴】

1948年 北海道生まれ
1973年 4月 京都府立医科大学研修医
1977年 2月 秋田大学医学部 文部教官助手
1982年 11月 米国テキサス大学 (ヒューストン) 留学 [NIH 奨励研究員]
1995年 5月 京都府立医科大学助教授 (第一外科)
2001年 10月 癌研究会附属病院消化器外科 部長
2005年 3月 癌研究会有明病院消化器センター長
消化器外科部長
2008年 11月 癌研究会有明病院副院長

【主な著書】

『最新化学療法レジメンー消化器癌』 メジカルビュー社, 2009年



総合討論司会

木村 泰三
外保連会長補佐
富士宮市立病院

【略歴】

1945年 京都府生まれ
1970年 東京大学医学部卒業
1977年 東京大学第2外科助手

(1977年～1979年 ジョンスホプキンス大学留学)
1985年 横浜船員保険病院外科部長
1990年 浜松医科大学第一外科助教授
1998年 富士宮市立病院長となり現在に至る

日本内視鏡外科学会技術認定制度担当理事(2003年～2009年)
外科系学会社会保険委員会連合実務委員長 (2003年より)
外科系学会社会保険委員会連合会長補佐 (2007年より)

【主な著書】

『腹腔鏡下胆嚢摘出術』 中外医学社, 1992年
『胆嚢摘出術における偶発症』 (ビデオ) 医学書院, 1997年(監修)
『消化器内視鏡下手術へるすシリーズ～標準の手法を学ぶ』
へるす出版, 2008年



追加発言

岩中 督
外保連会長補佐
東京大学小児外科

【略歴】

1954年 三重県生まれ
1978年 東京大学医学部卒業
1981年 東京大学小児外科教室入局
1983年 国立小児病院外科
1993年 米国カリフォルニア大学胎児治療センター留学
1994年 米国シンシナティ小児病院留学
1997年 埼玉県立小児医療センター外科部長
2006年 8月より東京大学小児外科教授

【主な著書】

『新版小児外科学』 診断と治療社, 1994年
『標準小児外科学第5版』 医学書院, 2007年



シンポジウム・総合討論司会

松下 隆
外保連広報委員会委員長
帝京大学整形外科

【略歴】

1949年 鹿児島県生まれ
1975年 東京大学医学部医学科卒業
1991年 東京大学大学院医学系研究科
博士課程修了
1980年 産業医科大学整形外科助手
1982年 東京大学医学部整形外科助手

1990年 帝京大学医学部整形外科講師
1994年 東京大学医学部整形外科講師
1998年 帝京大学医学部整形外科主任教授
日本骨折治療学会理事長 (2007年～現在)

【主な著書】

『難しい骨折・治療のこつ』 中外医学社, 1995年
『新しい創外固定 Taylor Spatial Frame 実用マニュアル』
メディカルレビュー社, 2006年
『ガイドラインに基づいた診療の実際』 南江堂, 2009年
『SYMPOSIUM: Biomechanics of Bone Healing』
Clin Orthop 467(8), 2009年
『骨折治療の要点と盲点』 文光堂, 2009年



特別講演司会

河野 匡
外保連広報委員会副委員長
虎の門病院呼吸器センター

【略歴】

1955年 山口県生まれ
1982年 東北大学医学部卒業
1987年 東京大学胸部外科入局
1989年 日赤医療センター
1990年 カリフォルニア大学アーヴァイン校外科

1992年 東京大学胸部外科
1999年 虎の門病院呼吸器外科部長
外科専門医・認定医、胸部外科認定医
呼吸器外科専門医・指導医

【主な著書】

単著：
『胸腔鏡下手術スキルアップ・シリーズ 呼吸器外科1基礎編』
ベクトル・コア, 2006年
『胸腔鏡下外科手術の実際』 南江堂, 1995年
共著：
『新臨床外科学』 医学書院, 1999年
『Minimal Access Cardiothoracic Surgery』 Saunders, 2000年
『ブラクテイル内科シリーズ1肺癌』 南江堂, 2003年
『呼吸器疾患最新の治療 2004-2006』 南江堂, 2004年
『呼吸器外科学』 南江堂, 2009年